
心理カウンセリングの実際

(講師 : 清水 信介 先生)

【研修のねらい】

この研修では、かなり長期にわたる心理カウンセリングの事例を取り上げ、カウンセラーのあり方、問題の見立て、クライアントの成長・変化の過程などについて学んでいきます。今回は、面接過程をいくつかの時期に分けて報告し、そこでの問題について参加者の方々と質疑応答を交わしながら、順次検討を進めていきます。面接のビデオ記録や長めの症例報告を一気に提示されても、なかなかついていけない場合があります。そこで、この研修では、時期ごとにとまって、論議を重ねながら進めていくことにします。

カウンセリンとはどういうものなのか、クライアントはどのように成長・変化していくのかについて認識を深めていただく機会になるかと思えます。

【研修の内容】

1. 導入の小講義

2. カウンセリング事例の検討

1) 事例 : 重症対人恐怖症の女性との心理カウンセリング

クライアント : 18 歳の女子学生 カウンセラー : 清水 信介

カウンセリング期間 : 1 年 8 カ月間 面接頻度 : 週 1 回 面接回数 : 74 回

2) 面接の展開過程の提示と質疑応答

カウンセリングの展開過程をいくつかの時期に分け、各時期について解説と質疑を行う。

3) 考察

3. まとめ

◆研修日時 : 2022 年 11 月 3 日 (木祝) 10:00~16:00 (5 時間)

※申込締切日 : 10 月 20 日 (木)

◆研修会場 : かでる 2・7 (730 研修室)

◆受講料 : 会員 5,500 円 (税込)

◆定 員 : 30 名 (先着順、定員になり次第締め切ります) <最少催行人数 10 名>

◆資格登録更新研修該当

【清水 信介 (しみずのぶすけ) 元・北星学園大学社会福祉学部教授 臨床心理士】プロフィール

北海道大学文学部哲学科 (心理学) を卒業。日本国有鉄道労働科学研究所の研究者として約 10 年勤務し、心理検査の開発、カウンセリングとエンカウンター・グループの研究・実践に従事。その後北海道に戻り、大学教員として室蘭工業大学、札幌学院大学、北星学園大学などに勤務。この間、臨床心理学を学ぶ学部学生、大学院生の教育指導に当たるとともに、心理臨床家として心の悩みを抱える人々に対する相談援助を行う。

また、大学外での活動として、1996 年から現在まで、日本産業カウンセラー協会 (北海道支部) の産業カウンセラー養成において講師およびスーパーヴァイザーとして指導に当たっている。専攻は臨床心理学 (心理療法) で、ユング心理学に基礎を置く立場で心理療法 (カウンセリング) を行っている。